

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題

モノエタノールアミンのヒメダカ (*Oryzias latipes*) に対する延長毒性試験－14日間

試験番号

ET9702-5

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No. 204 「魚類延長毒性試験－14日間」(1984年) に準拠して実施した。

- 1) 被験物質： モノエタノールアミン
- 2) 供試生物： ヒメダカ (*Oryzias latipes*)
- 3) 暴露方式： 流水式 (定量ポンプを用いる連続希釈装置を使用)
- 4) 暴露期間： 14日間
- 5) 連数： 1 濃度区につき1連
- 6) 生物数： 10尾/濃度区
- 7) 試験液量： 7.0 L
- 8) 温度： $24 \pm 2^{\circ}\text{C}$
- 9) 照明： 室内光、16時間明/8時間暗
- 10) 給餌： 市販のテトラミンを毎日魚体重の 2%を与えた
- 11) イレション： 無し
- 12) 試験濃度： 対照区, 10.00, 32.00, および100.00mg/L
- 13) 試験水中の被験物質濃度の分析：GC-MS法 (暴露開始時, 7日目, 14日目)

結 果

- 1) 14日間の最小致死濃度： $>100.00 \text{ mg/L}$
 - 2) 14日間の最小作用濃度： $>100.00 \text{ mg/L}$
 - 3) 14日間の最大無作用濃度 (NOEC)： $>100.00 \text{ mg/L}$
 - 4) 7日間の半数致死濃度 (LC50)： $>100.00 \text{ mg/L}$
 - 5) 14日間の半数致死濃度 (LC50)： $>100.00 \text{ mg/L}$
- (上記濃度は、全て設定値に基づく値)